



麻小だより

たらばな

発行：紀の川市立麻生津小学校
令和 3年 3月 1日 (No.4)

校訓 「大きく育て 麻生津の子」

ご卒業おめでとうございます。
麻生津小学校長 山本 具子

明るい日の光が春の訪れを感じさせてくれる頃となりました。平素より、保護者の皆様、地域の皆様方には本校教育の推進のため、温かいご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので令和2年度もあとわずかとなり、6年生3名(男子2名 女子1名)は小学校6ヶ年の課程を終え、めでたく3月19日に卒業証書授与式を迎えることとなりました。

今年度はコロナ禍にあって、学校生活でも様々な制約や我慢が必要な1年でした。昨年度末からの臨時休業が4月、5月と続き、5/31、ようやく待ちに待った入学式を無事行うことができました。6月から始まった1学期、そして短い夏休みを経て、まだ暑い日が続く中、2学期となりました。学校行事や対外行事がいくつも中止せざるを得ない2学期でしたが、運動会と修学旅行ができ、ほっと胸を撫で下ろしました。

今年度の卒業式も、来賓の方々にはご臨席を賜うことができません。規模を縮小しますが、保護者の皆様とともに心のこもった式を行いたいと教職員一同、準備をしております。今年度は在校生もビデオで、卒業生に「おめでとう・ありがとう」の気持ちを贈る予定です。

さて、入学当初は小さかった子供達も、この6年間で心も体も立派に成長して本校を巣立っていきます。

1年生を迎える会や運動会などの行事では、スローガンを掲げて企画・立案・実行と、6年生が中心になってすばらしい取組をしてくれました。



また、日々の生活の中でも清掃や委員会活動など一人一人が熱心に、協力して取り組みました。その姿が下級生の手本となり、麻生津小学校の「伝統」として受け継がれていくのだと思います。そして、その伝統のバトンが5年生へと渡され、また全校のリーダーとして成長していただけることを期待します。

卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。6年間の長きにわたり、本校の教育に対しまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今後とも麻生津小学校を温かく見守っていただくとともに、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和2年度 卒業生



令和2年度末・3年度当初行事予定

- 3月19日(金) 令和2年度卒業証書授与式
13:00～ 体育館
在校生授業後、給食なし10:30下校
 - 24日(水) 修了式・集団下校10:50
※離任式 今年度は、なし
 - 4月 8日(木) 新任式・始業式 給食なし
 - 9日(金) 令和3年度入学式 14:00～ 体育館
2年生～6年生 給食後12:30下校
- ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更になることもあります。

がんばりました

◇ 那賀地方書初競書会

今年度は県中央展の審査がなかったため、那賀地方での金賞と特金賞を紹介します。

- ・金賞 1年 黒田杏実さん 2年 辻 剛生さん
3年 笈川凌空さん 3年 小倉独楽太郎さん
4年 梅本爽帆さん (毛筆)
4年 黒田柚葉さん 4年 藤本淳平さん
5年 小倉 優さん 5年 辻 和純さん
5年 梅野琴音さん 5年 山本彩心さん
6年 梅本真帆さん 6年 岡 宗佑さん
- ・特金賞 2年 さん 3年 茶原美心さん
5年 中島愛珠さん

◇ 那賀地方読書感想文コンクール

- ・入選 4年 梅本爽帆さん 6年 梅本真帆さん
(学校代表)

新・学校ホームページが3月スタート!

皆様に長くご愛顧いただきました「麻小っ子～日々是好日」ですが、紀の川市内各小学校で様式が統一されました。今後ともよろしく願います。

ぜひ、下記アドレスをご登録ください。

<https://city-kinokawa.ed.jp/es/ohdu/>



卒業生が語る「大切にしたい言葉」

僕の大切な言葉

有井 俊翔

僕が座右の銘にしたい言葉は、「何かしようと思っただけ、そのことだけに夢中にならなくちゃ。」です。

これは、ドラえもんが言っていた言葉だそうです。インターネットでさまざまな人の名言を探していた時に会って心に残りました。

この座右の銘に出会ったとき、思い出したことがあります。以前、習い事でサッカーと習字をしていました。僕はどちらも自分のためになると思い続けていたけど、3年生になって二つの習い事の時間が合わなくなって、どっちを続けるか考えた結果、サッカーを続けることにしました。

その後、競書会で金賞をとれなくなり、残念に思いました。だけど、サッカーは6年生まで続け、体力もついたし、たくさん仲間も出来ました。

習字を諦め、サッカーだけに集中することになったけど、それでよかったんだと思います。

中学校でもサッカーは続けるつもりですが、チームの人数が増えるので、今まで以上にがんばらないと試合に出られないと思います。

やるからには、ドラえもんが言っているように中途半端にならないよう夢中になっていたいと思います。



大切にしたい言葉

梅本 真帆

私が座右の銘にしたい言葉は、「一歩目がないと二歩目もない。」だ。これは元SMA Pの中居正広さんの言葉である。

私がこの言葉を選んだのは、何でもはじめからあきらめたくないからだ。秋にそろばんと暗算の検定を受けることになったとき、初めは、難しいから受けたくなかったけど、どちらも2級の問題を受けることになった。週に3回、時間を計って練習した。検定が終わって、どちらも合格だった。塾内ではいつも合格点数をとっていたけど、本番で合格したのは初めてだったので、とてもうれしかった。

その後、中居正広さんの「一歩目がないと二歩目もない。」という言葉に出会った。そろばんも初めからあきらめずに練習してきたから、合格できたのだと思う。

それに、そろばんの他にもあきらめずに続けてきたから出来たことがたくさんある。英検の3級を合格したときもそうだった。初めは、無理だと思っていたけど、毎日英単語を覚えたり、問題を解いたりしていたから、いい結果が出せたのだと思う。

私は、中学校に行ってもあきらめずに続けることを大切にしたい。

「一歩目がないと二歩目もない。」この言葉をこれからの座右の銘にしたい。



一歩目がないと二歩目もない
と思います

#中居正広

一歩目がないと二歩目もない
と思います

チームプレー

岡 宗佑

僕が座右の銘にしたい言葉は、「お前のためにチームがあるんじゃない、チームの為に前がいるんだ。」だ。これは、「スラムダンク」という漫画の安西先生という人の言葉だ。いろんな人の名言を調べているときに会って知った。

僕は、バスケットボールはしていないが、2年生の時からハンドボールをしている。今はキーパーをしている。

ハンドボールでは7人全員がそれぞれのポジションで、協力して試合をする。だから、チームプレーがうまくいくように「全員、声を出せ。」といつもコーチが言っている。

声かけひとつで、パスが通るときもあれば、通らないときもある。きっと、バスケットボールも同じだろうが、一人だけ良いプレーをしても勝てないと思う。

試合の後にはいつも、次に向けて目標を考えている。そのときは、自分の目標はひとつで、チームの目標は3つ考えている。安西先生が、「チームの為に前がいるんだ。」と言うように自分勝手なプレーはせず、チームが勝つために自分が何を出来るか考えることが大切だと思う。

僕は中学校へ行っても、ハンドボールを続けていこうと思う。これから先の試合や練習でも、この言葉を忘れずにがんばっていききたい。



保護者・地域の皆様には一年間本当にありがとうございました。

来年度もよろしく願いいたします。